

「BIG-IP ASM をサイトの
フロントに配置し、リスクを
緩和する事で、
安心が得られます」

FNZ
Head of IT Security and Infrastructure
Neil Manning

金融サービスプロバイダの FNZ、F5 の堅牢な ネットワーク基盤により将来の繁栄に投資



業界:

金融サービス

課題:

- 高度なオンライン・ユーザ・パフォーマンスの提供
- 24 時間 365 日利用可能な環境をオンライン・クライアントに提供
- セキュリティ脆弱性の解消
- 成長をサポートする拡張性の高いインフラストラクチャを構築

ソリューション:

BIG-IP® Global Traffic Manager™、BIG-IP Local Traffic Manager™、BIG-IP Link Controller™、BIG-IP Application Security Manager™、FirePass® SSL VPN、WANJet®

導入効果:

- パフォーマンスと安定性の向上
- 管理の簡素化と円滑化
- セキュリティリスクの緩和
- 野心的な世界展開をサポートするインフラストラクチャの整備

概要

4 年前に創業したばかりの FNZ (ニュージーランド・ウェリントン) は、金融サービス業界一の充実度を誇るオンライン口座管理サービスを運用しています。同社の技術は「ラップ (wrap)」プラットフォームと呼ばれ、投資家やブローカーが 1 つのポータルを通してポートフォリオ全体を管理できるようになっています。

銀行、証券会社、保険会社 (Bank of New Zealand や英国の Standard Life といった大手を含む) は自社のインフラを構築する代わりに、FNZ のインフラをカスタマイズして使用しています。FNZ の CEO である Adrian Durham 氏によると、同社は必要なソフトウェアとホスティングを提供し、バックエンドの取引と決済を処理する唯一の企業だということです。

現在、英国とニュージーランドで 11 万を超える投資家が、FNZ が運営する Web サイトを利用して将来の金融計画を立てています。FNZ 自身の事前計画なくしては、これほど多くの顧客に対応することは不可能だったに違いありません。F5 の BIG-IP 製品およびその他の F5 ソリューションにより、同社では最初から、拡大を続ける顧客ベースに高速で確実かつ安全な金融データへのアクセスを提供する準備を整えることができました。

課題

FNZ のラップ・プラットフォームは、ウェリントンに本拠を置く投資銀行で証券会社である First NZ Capital Ltd. が自社用に開発したカスタム・ソリューションに端を発しています。6 年前に運用が開始されると、同システムはたちまち大成功を収めました。会社の経営陣はやがて、このプラットフォームは、独自のラップサービスの提供を模索しているほかの金融機関にも同じように受けるに違いないと考えられるようになります。

First NZ Capital は自社のラップ部門でラップサービスのアウトソーシングを開始し、これが後に FNZ として独立することとなりました。この新会社が最初に取り組んだことが、数百年の銀行、証券会社、保険会社をサポートするインフラストラクチャを強化することでした。FNZ では、これらの金融機関が堅牢なパフォーマンスを要求してくるであろうと考えていました。低速の Web サイトで我慢してくれる寛容な投資家はなかなかいないからです。

「高速でなければ使ってもらえません」と FNZ の Chief Operating Officer、Damian Millin 氏は述べています。さらに、24 時間 365 日いつでも口座にアクセスできる環境が求められることから、継続稼働の確保も重要となることができます。

「わずかな間でもシステムがダウンすれば、困った事態になります」と Millin 氏は言います。

ソリューション

Millin 氏は、FNZ の IT Security and Infrastructure の責任者である Neil Manning 氏に対し、同社のラップシステムの広範な商用利用に向けて準備を整えるように命じました。Manning 氏はすぐに F5 の BIG-IP 製品の利用を思いついたと言います。「より高度なロードバランシングが必要なことは早い段階から分かっていたから」と Manning 氏は説明します。加えて、かつて Manning 氏はニュージーランドでもトップクラスの F5 のリセラーで働いていた経験があり、F5 製品がパフォーマンスと信頼性に与える影響について熟知していました。

現在 Manning 氏は、さまざまな用途に BIG-IP 製品を利用しています。BIG-IP Local Traffic Manager (LTM) は、FNZ の Web サーバ全体にトラフィックを均等に分散することで、レスポンスタイムを低く抑えます。BIG-IP Global Traffic Manager (GTM) は、





FNZ がニュージーランドとスコットランドで展開する 4 つのデータセンター間でのシームレスなフェイルオーバーを可能にし、継続的な稼働を支援します。

また BIG-IP Link Controller は、ISP 接続の速度の遅さや接続の切断によってお客様に迷惑がおよぶことを防止します。「1 つの ISP がネットワークで大きな処理を行う場合、それをシャットダウンすればすべてのトラフィックがほかの ISP に送られます」と Manning 氏は説明します。

さらなるニーズが発生したことから、FNZ では F5 BIG-IP Application Security Manager を FirePass SSL VPN と WANJet アプライアンスと共に導入し、こうして将来を見越した完全なアプリケーション・デリバリー・ネットワーク・システムが完成することとなりました。

導入効果

FNZ では世界各地で急速に事業を拡大しており、そのような中、これらの F5 製品を組み合わせて使うことで、高信頼性を確保するという困難なタスクが大きく簡素化されることとなりました。「シームレスなソリューションで、まったく手間がかかりません」と Manning 氏は言います。

ワンストップのリスク緩和

言うまでもなく、金融サービス業界において、セキュリティは安定性と同等に重要な課題の 1 つです。Durham 氏はこう言います。「非常に重要な問題です。誰かの個人情報に、それを見ることが許されないほかの誰かがアクセスできるということになれば、ビジネスを停止せざるを得ません」

当然のことながら、創業間もないころの定期的なセキュリティ監査では、金融 Web サイトにつきものの脆弱性が多数検出され、

Manning 氏はただちに対応にあたりました。当時、同社は急成長のなかにありました。

「月に 2、3 個という速いペースで Web サイトを構築していました」と Manning 氏は言います。開発者達をセキュリティ関連の業務にあたらせるとなると、その作業が中断してしまうこととなります。

代わりに Manning 氏は、決められているものや許可されたものを除くすべてのインターネット・トランザクションを企業の防御境界から中に入れないようにする Web アプリケーション・ファイアウォール、BIG-IP Application Security Manager (ASM) をインストールすることにしました。

その効果はすぐに現れました。BIG-IP ASM のおかげで、FNZ の次の監査では、これまで検出されていた脆弱性がいっさい見つかりませんでした。Manning 氏はこう語ります。「Web サイトに脆弱性が存在することは分かっています。ですが、コードを修正するには膨大なコストがかかります。BIG-IP ASM をサイトのフロントに配置し、リスクを緩和してもらうことで、安心していられます」

また BIG-IP ASM の詳細なトランザクション・ログによって、脅威が明らかになり、FNZ ではサイトに被害がおよぶ前にハッカーを特定し侵入を阻止することができます。このログがあれば、これらの脅威はなかなか発見できないことでしょう。

全社規模の標準

FNZ では、BIG-IP 製品の利用がきっかけとなり、別の F5 ソリューションの導入を決めました。今では、F5 の広域ネットワーク最適化アプライアンスの WANJet を使ってトラフィックローを高速化し、さらにはトラフィックの暗号化も行っています。「トラフィックの多くが機密情報です。WANJet のおかげで、このような

高レベルのセキュリティを確保することができています」と Manning 氏は説明します。

このほか FNZ では、F5 の FirePass SSL VPN アプライアンスを利用することで、オフィスで働く社員が本社のネットワークリソースに安全に接続できるようにしています。

実際、今では F5 のソリューションは、FNZ の全社規模のアプリケーション・デリバリー・ネットワーク標準となっています。「弊社が取引しているベンダーのなかで、F5 がもっとも対応がすばやいのではないのでしょうか。ニュージーランドのセールsteam は、常に先を見越して問題の解決を支援してくれます」と Manning 氏は言います。

F5 の Senior Pre-sales Engineer として FNZ のサポートにあたる Matthew Moore は、先を見越した対応では FNZ も決してひげをとらないと話します。同社は最初から、常に長期的なビジョンを持ってアーキテクチャに関する決定を下していました。「多くの洞察によって、成長を支える基盤を構築していったのです」と Moore は言います。

これはいい傾向だと言えます。なぜなら FNZ では、ヨーロッパ、カナダ、アジアでの事業拡大を継続すべく野心的な計画を立てているからです。「この製品をできるだけ早く多くの人に使ってもらいたいと考えています」と Millin 氏は言います。つまり、今後数年の内に FNZ のコアアプリケーションの作業負荷が高まることが予想されます。

Millin 氏によると、「トランザクション数は 12 カ月ごとに倍増する」とのことです。BIG-IP システムとその他の F5 ソリューションにより、Millin 氏は今後も FNZ のインフラストラクチャーを使って難局に挑み続けていくことでしよう。



F5 ネットワークスジャパン株式会社

東京本社
〒107-0052 東京都港区赤坂 4-15-1 赤坂ガーデンシティ 19 階
TEL 03-5114-3210 FAX 03-5114-3201

西日本支社
〒530-0001 大阪府北区梅田 2-2-2 ヒルトンプラザウエスト オフィスタワー 19 階
TEL 06-6225-1250 FAX 06-6225-1111

お問い合わせは F5 First Contact まで : www.f5networks.co.jp/fc/

● お問い合わせ先